

奉仕の心を行動に

宮崎南ロータリークラブ
会長 千葉百合子

第1842回例会 2015.8.10

会長／千葉百合子 幹事／山崎栄一郎
副会長／丸山 一郎 会報／戸高 勝利
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／四つのテスト
ロータリーの目的



宮崎RC

濱田倫紀様

会長挨拶

千葉百合子会長



全国高校野球もまったただ中、この暑い8月球児達は勝っても負けても真っ直ぐな心からあふれる汗と涙に感動しテレビの前で応援していますが、私達大人にはこんな真っ直ぐな心を持ち合わせているかどうか、つくづく考えさせられます。

宮崎で認定されているNPO法人は400とも500とも言われています。まだ増えているかも知れません。私の職場でも好きな人が集まり、歌を唱っていますが、第1、第3の水曜日は障害のある人だけのカラオケ教室を開いています。全盲の人が多いのですが、彼・彼女達には一人一人のヘルパーさんがついて来ます。彼女達をみているとなんと小さいところまでよく気配り目配りをしている様子がわかります。

一年に一度みんなが集まって忘年会をするのですが、楽しみにしている様です。お酒を飲んでお弁当を食べて、みんなの歌を聞いて自分達も唱い、そんな時が楽しいといひます。ヘルパーさんは、お弁当の中を箸を持たせて手を添えて、これが卵焼き、これが唐揚げと一つ一つ教えていてコップも手を添えて渡しています。目の悪い方も信頼しきっているようです。

出席委員会報告

重松芳文委員長

●出席状況

本日状況		前々回状況	
会員数 (40)	42名	会員数 (41)	42名
本日欠席者数	22名	ホームクラブ出席者数	31名
本日出席者数	20名	メイクアップ数	1名
出席率	55.00%	修正出席者数	32名
		修正出席率	78.05%

●前々回メイクアップされた方／田中 寛会員

ニコニコ BOX 2件 6,000円
累計 21,000円

募金箱 3,960円
累計 19,301円

このヘルパーを派遣してもらっているのがホテルシーガイアフェニックスにいらした浜田親典さん。平成21年に『にこにこ介護サービス』を立ち上げ今、メンバーさんは16名と言うことです。ほぼ年中無休で支援活動をしています。

又、生目の杜のそばにある目の不自由な人の老人施設、『生目幸明荘』にも行きますが、玄関を入るとセンサーが働き、「ここは玄関です」「ここは事務所です」「ここは男子トイレです」と教えてくれます。歌を唱う時は点字で指でなぞりながら…となり、ゆっくり伴奏をしてあげます。この施設は県内にひとつということです。

幹事報告

山崎栄一郎幹事



- 田中ガバナー年度月信最終号訂正について
P3、宮崎県南部分区ガバナー補佐坂下元信氏による寄稿文の14行目
“また、今年2月に、日南ロータリーの8000回目の例会に出席し…” →訂正 3000回
- ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ
住所：鹿児島県指宿市十二町3755 いわさきホテル内
勤務時間：午前10時～午後5時
※尚、当事務所は2016年7月1日よりガバナー事務所となります。

- ・特別月刊(8月)名称変更のご案内
変更後名称：「会員増強・新クラブ結成推進月間」
変更前名称：「会員増強・拡大月間」
- ・9月7日(月)はガバナー公式訪問です。多くの参加をお願いします。

親睦委員会

藤澤正博副委員長



- ・8月30日(日)宮崎南ロータリークラブゴルフを行います。フェニックスカントリークラブ。スタート9時31分

誕生月

川野一義会員
開地俊昭会員
安川 潔会員
重松芳文会員
高山周栄会員



ニコニコBOX

松本佳士会員

皆様に名刺配りました。有難うございました。

千葉百合子会員

夜間例会大勢の会員の方の出席ありがとうございました。

本日のプログラム

外部卓話

諸岩則俊様のご紹介

井上竜志会員



諸岩則俊様のご紹介をさせていただきます。

諸岩様は旧清武町にお生まれになり、大久保小、清武小、日向学院中・高ご卒業後、東京農大農学部を卒業後テレビ宮崎にご入社されました。報道カメラマン、報道部長など歴任され、旧清武町教育委員もされました。現在は安井息軒顕彰会の副理事をされておられます。

平成26年12月～27年4月まで自分史連載ふるさと情報発信記を101回にわたり掲載されました。

神話写真と安井息軒

諸岩則俊様



報告者

プログラム委員会 早瀬清則委員長

「神話写真と安井息軒」のテーマで約30分お話しいただきました。

諸岩氏は、清武町出身で東京農大を卒業後、テレ

ビ宮崎に入社され報道カメラマンとしてご活躍、報道部長等歴任されました。その後、写真家・安井息軒顕彰会の副理事長としてその研究に取り組まれています。

前半は、27枚の写真を見ながら日向神話の舞台となった高千穂～宮崎～清武～青島～日南等、紹介されました。写真は通常の物でなく夜間(夕方から朝まで)に撮られた物でその神秘さがより一層伝わり、これぞ正にプロカメラマンとして芸術性の高い写真でした。その為、神話の流れがよりリアルに感じられ、これまで聞いた話を一連の物語として理解することができました。

後半は、郷土の偉人「安井息軒」について、これまで大儒学者と言われてきたが最近の研究で漢学者と呼ぶほうが正しいとの説が有力視されだしたとのこと。

儒学と言えば、孔子・孟子の教えをまとめ中国古来の政治・道徳の基になった学問で日本でも明治時代まで政治の基本理念は儒学でした。一方、法律・刑罰を以て政治の基礎と説く韓非子の研究で息軒先生は、[管子纂話]を著しており、いち早く法治政治の必要性を悟り、三計塾でもその考えは、多くの塾生に教授され明治維新の大きな推進力となりました。以上の理由で、儒学者から漢学者と言われ、最近では【知の巨人】とも称されるようになりました。

其のことを裏付ける数か所の碑文や、早稲田大学古賀教授の著書「鑑の近代」について紹介があり「安井息軒先生」の研究が次第に進行しているとのことのお話で、講話を締めくくられました。

